

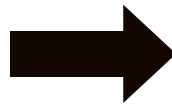
PCa アウトフレーム工法

建築技術性能証明取得

耐震性とデザイン性を高め、建物の安全性を高める技術、それがPCaアウトフレーム工法です。
 当社もオリエンタル白石株式会社さんの協力のもと山口県内の学校や集合住宅への納品実績が増えてきています。

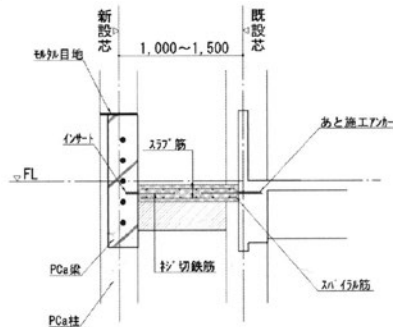


耐震改修前(S中学校)



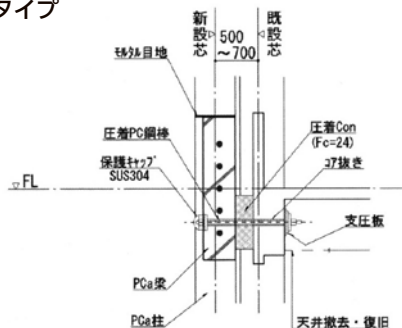
耐震改修後

◇PCaアウトフレーム各タイプの特徴 ・スラブタイプ



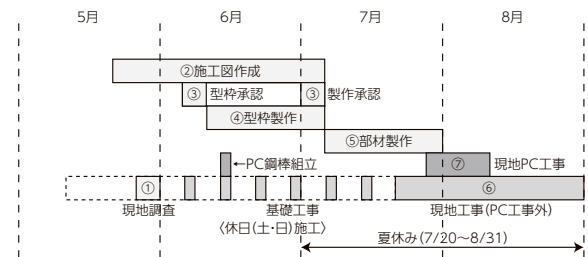
1. PCaアウトフレーム耐力は、場所打ちスラブを介して応力伝達を行う。
2. 全ての作業が外部から行うことが可能。
3. スラブ完成後は、室外機設置や配管スペースとするなど有効活用が可能。
4. 敷地に余裕が必要。

・圧着タイプ



1. PCaアウトフレーム耐力は、PC鋼棒による圧着接合により応力伝達を行う。
2. 圧着時に建物内部の一時的な使用制限があります。(3日程度)
3. 場所打ち部分が少ないので、スラブタイプに比べてさらなる現地工程の短縮が可能。
4. 補強部材を直接既存建物へ取り付けすることで敷地が狭い場合に有効。

◇PCaアウトフレームを用いた耐震補強工事の流れ



学校教育環境や安全な工事環境のためにご検討をお勧めいたします

注) 耐震改修にかかる費用は建築物の条件や周辺環境の条件によって変わりますので、まずはご相談ください。